



2022年9月2日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・スリーホールディングス
代表者名 代表取締役社長 笠原 弘和
(コード：3647 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理部長 清見 義明
(電話：03-5781-2522)

通期連結業績予想の修正及び配当（無配）に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年2月18日に公表いたしました2022年8月期通期連結業績予想について下記のとおり修正すること、及び「2022年8月期第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）」において未定としておりました2022年8月期の期末配当について、下記のとおり決定いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022年8月期通期連結業績予想数値の修正（2021年9月1日～2022年8月31日）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,500	百万円 300	百万円 250	百万円 △300	円 銭 △17.80
今回発表予想 (B)	1,920	30	32	△470	△27.90
増減額 (B-A)	△1,580	△270	△218	△170	
増減率 (%)	△45.1	△90.0	△87.2	—	
(参考) 前期実績 (2021年8月期)	3,309	212	168	35	2.08

(2) 修正の理由

2022年2月28日付け「太陽光発電モジュールの仕入及び販売に基づく売上計上に関するお知らせ」にて公表いたしました太陽光発電モジュールの仕入販売について、2022年8月期の売上計上（当社直前会計年度の末日における純資産2,473,935千円の30%に相当する額以上）を見込んでおりましたが、当社販売先が施工する太陽光発電所の建設現場において、地震や相次ぐ異常気象により災害が発生し、工事日程の変更が生じたために、その一部納期・売上計上時期に変更が生じることとなりました。また、世界的な半導体供給不足及びウクライナ危機によるサプライチェーンの混乱によって8月に入り突然、当社仕入先メーカーの製造計画に変更が生じました。現在

は、販売先と仕入先メーカーと製造期間や納入時期を含めて再調整をおこない問題は解消されましたが、その当社売上計上は期を跨ぐこととなりました。

さらに、販売用太陽光発電所の仕入において、太陽光発電所のセカンダリーマーケットの形成が想定以上に進み、当該事業分野において投資家の新規参入が続き、競合者の増加が案件価格高騰の要因となり、案件の取得は2022年4月14日付け公表の「販売用太陽光発電所の取得に関するお知らせ」の2案件のみとなりました。そのため今期の太陽光発電所の販売は、2022年1月28日及び2022年8月17日付け公表の「太陽光発電所の売却に関するお知らせ」の3案件に止まることとなりました。現在も複数案件が交渉中となっており、売上計画も先送りの状態となっております。そのため、当初計画を下回る結果となりました。

上記のほか、サステナブル事業部門において、2021年3月1日より開始した基礎化粧品及び健康食品の仕入販売事業については引き続き当社業績の底上げに寄与したものの、2021年8月18日付け「新たな事業の開始に関するお知らせ」にて公表の消毒OEM事業は、消毒液に使用する過酢酸は強力な消毒力があるものの、過酢酸消毒液のマーケットは立ち上げ段階にあることから、消毒装置の更新及び新規導入は想定を下回って推移しております。

新規エネルギー事業部門においては、新型コロナウイルス感染症の繰り返される行動制限等の影響により、LPガス及び都市ガスエンジン搭載非常用発電機、災害時用非常用マグネシウム電池の開発において、お取引先様にも活動に制限が生じ、商品開発が遅れ、今期中の本商品完成に至りませんでした。

これらの状況を踏まえ、2022年8月期通期連結業績予想数値を修正いたします。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

これまで「未定」としていた期末配当を「無配」に修正いたします。

	年間配当金 (円 銭)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022年7月15日公表)	—	未定	未定
今回修正予想	—	0.00	0.00
当期実績	0.00	—	—
前期実績 (2021年8月期)	0.00	0.00	0.00

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要政策として位置づけており、将来の事業展開に備え財務体質の強化を図る一方で、業績や経済情勢などを総合的に勘案し、安定的な配当を目指していきたいと考えております。

しかしながら、上記「1. 業績予想の修正について」に記載のとおり、各指標において前回発表予想を下回る見込みであったため、これまで未定としておりました当期の期末配当を誠に遺憾ながら無配に修正させていただきます。

株主の皆様には深くお詫びを申し上げますとともに、可能な限り早期に復配できるよう努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の業績予想等は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上